

一般質問の終わりに

4月に生活保護問題の学習の議員研修を受けてきましたが、その記念講演で、慶應義塾大学の金子勝教授が「穴だらけのセーフティーネット・生きていくことが困難な社会」と題しての講義を受けました。

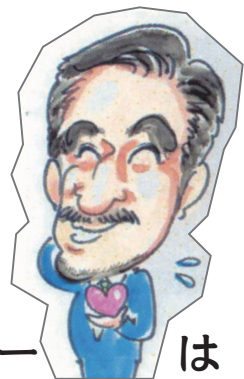
印象的な話を一つ紹介します。

「現代社会が形成する貧困は自立の形成が著しく困難になる。また教育課程で中退、雇用課程で非正規雇用が継続すると、学業も職業も達成感を味わえず職業的ミッションの形成もできない。貧困だけの問題に止まらない極めてセンシティブである」

つまり、人間の尊厳や働く達成感を体験できない状況は、国家の損失になってしまう、ということです。

地元業者の活性化も、医療問題も、教育も、根っこは貧困につながるが、行政で支援できることは積極的に行わないと本市の発展にも影響すると思う、

今後も上から目線に陥ることなく、市民の立場に立った施策を更に実行される事を要望して、一般質問を終わります。



私、松下真一は

6月大野城市定例議会において

3つの質問をいたします！

ピサの斜塔も
大野城市も

GIVE ME JOB
GIVE ME HOUSE
GIVE ME LOVE

これ以上傾くと困ります

